

# あわらし定例記者会見

平成22年2月25日(木) 10:00～

あわらし役所 204会議室

## 1 市長施政報告

(1) 第47回あわらし市議会定例会について(上程議案40議案)

会期予定: 3月1日(月)～19日(金)

平成22年度あわらし市各会計予算について

一般会計予算 138億6,000万円

(対前年度比) 10億4,000万円(8.17%)増

主な条例案件(5件)

- ・あわらし放課後子どもクラブ事業の実施に関する条例  
小学校3年生までを対象に実施している「放課後児童クラブ」を「放課後子どもクラブ」として6年生まで拡大。所管は福祉課から文化学習課へ
- ・あわらし乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例  
6歳までを対象に実施している医療費の助成を15歳まで拡大(一部負担あり)
- ・あわらし営住宅条例の一部を改正する条例  
古団地を用途廃止
- ・あわらし心身障害児就学指導委員会条例の一部を改正する条例  
学校教育法の一部改正に伴う所要の改正
- ・あわらし中学校生徒の通学に要する交通費の補助に関する条例の一部を改正する条例  
金津中学校生徒対象にスクールバスを運行することに伴う所要の改正

その他

- ・工事請負変更契約の締結  
防災行政無線整備工事の契約金額を減額
- ・字の区域及び名称の変更  
花乃杜ハイツ土地区画整理事業の換地処分による変更

- ・市道路線の認定
- ・人事案件
  - 教育委員会委員（１人）
  - 固定資産評価審査委員会委員（３人）
  - 芦原温泉上水道財産区管理委員（６人）

(2) 農家支援組織「ねこの手クラブ」の創設について

2 2・3月のイベント、主な行事予定等について

25日(木) 15:30～	あわら男女共同参画プラン改定の提言	(市長室)
26日(金) 10:00～	あわら市自衛隊協力会入隊者激励会	(市長室)
26日(金) 15:30～	市長おでかけトーク	(金津高校)
28日(日) 10:00～	美しい坂井地区を創る協会ふるさとづくり大会	(中央公民館)
28日(日) 14:00～	あわらトリムクラブ設立総会	(市役所正庁)
28日(日) 17:00～	グラスワークショップ2010オープニングレセプション	(金津創作の森)
7日(日) 10:00～	第2回あわら寺子屋	(湯のまち公民館)
20日(土) 15:00～	花野米レディース旬の市	(セントピアあわら)

～ 議 会 日 程 ～

1日(月) 9:30～	第47回市議会定例会 本会議
8日(月) 9:30～	本会議(一般質問)
9日・10日	総務文教常任委員会
11日・12日・15日	厚生経済常任委員会
18日(木) 13:30～	議会運営委員会
19日(金) 全協終了後	本会議(委員長報告、採決)

## 平成21年度・3月補正予算の概要

1 今回は、産業団地整備事業特別会計、工業用水道事業会計及び農業集落排水事業特別会計を除く9会計で、補正を行っている。

2 一般会計補正予算（第10号）は、歳入歳出それぞれ5億8,416万1千円を減額し、補正後の予算額を168億8,915万5千円とする。前年同期（3月補正時点）と比較して、39億21,304万7千円、30.2%のプラスとなる。

3 その他特別会計（5会計）では、補正総額1億647万8千円の増額となる。

企業会計（3会計）では、補正総額8,331万7千円の減額となる。

一般会計を含めた補正額計（9）5億6,100万円の減額。

4 一般会計の主な内容としては、緊急経済対策事業として、道路改修工事や公共施設の修繕工事等を行うほか、歳出各款にわたって事業費の確定あるいは精算等に伴い生じた不用額を減額した。緊急経済対策事業に係る予算は1億4,367万円。財源として、国の「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」（1億904万円）を活用する。

また、財政調整基金に2億2,100万円、学校施設整備基金に1,000万円を積み立てることとしている。（H21年度末の財政調整基金残高は、12億300万円となる見込み。）

### 5 歳出補正予算の主なもの

総務費	庁舎屋上防水工事*	1,020万円
	広域生活路線維持対策等事業補助金	1,477万9千円
民生費	国民健康保険特別会計繰出金	202万2千円
	後期高齢者医療広域連合負担金（事務費、療養給付費）	3,657万3千円
	広域圏負担金（子ども手当分）	498万3千円
	保育所改修工事（金津、金津東、細呂木）*	1,080万円
	幼稚園改修工事（本荘）*	652万円
衛生費	複合福祉施設整備事業	875万7千円
	環境衛生組合負担金	3,575万4千円
農水費	広域圏負担金（清掃センター等）	2,498万9千円
	坂井丘陵企業的園芸拡大事業補助金	970万8千円
商工費	低コスト耐候性ハウス導入事業補助金	2,015万5千円
	セントピアあわらリニューアル工事*	790万円
	芦原温泉駅前公衆便所バリアフリー化工事*	315万円
土木費	セントピア芦原運営補助金	4,949万2千円
	道路改良工事*	3,000万円
消費費	公共下水道事業会計補助金	8,363万円
	嶺北消防組合負担金（消防署庁舎設計委託料等）	2,420万円
	消防署庁舎建設用地取得費	1億3,547万8千円
	防災行政無線整備工事	6,646万円

	全国瞬時警報システム整備工事	8,665千円
教育費	各小学校耐震補強及び改修工事	7,594万3千円
	両中学校耐震補強及び改修工事	3億6,368万9千円
	伊井小学校グラウンド改修工事*	1,900万円
	各公民館改修工事*	4,620万円
	体育施設改修工事*	990万円
諸支出金	財政調整基金積立金	

2億2,100万円

学校施設整備基金積立金 1,000万円

\*きめ細かな臨時交付金充当事業

## 6 歳入補正予算の主なもの

市税（個人市民税）3,400万円、（固定資産税）4,500万円 滞繰含む

地方交付税（普通）3,116万8千円

国庫支出金 12億2,158万4千円（公共投資臨時交付金 8億8,039万円、きめ細かな臨時交付金 1億904万円、安全安心な学校づくり交付金 2億5,356万1千円など）

県支出金 2,525万8千円（農林関係補助金 3,086万2千円、即時情報伝達体制整備事業補助金 866万5千円など）

財産収入 1,352万3千円（基金利子 457万2千円、土地売払収入 908万6千円など）

寄附金 179万2千円（サポート寄附金109万5千円、県ふるさと納税寄附金69万7千円）

繰入金 3億9,710万1千円（財政調整基金繰入 3億9,670万円など）

市債 16億6,730万円（消防債 2億960万円、教育債 14億7,280万円など）

## 7 その他

（繰越明許費の設定）

「庁舎屋上防水工事など、きめ細かな臨時交付金充当事業 1億4,367万円」、そのほか、民生費で「広域圏負担金（子ども手当分） 498万3千円」、衛生費で「新型インフルエンザ予防事業 108万円」、農林水産業費で「県営かんがい排水事業負担金 4,340万円」、「経営体育成基盤整備事業負担金 35万5千円」、商工費で「多目的広場整備事業 7,500万円」、土木費で「県営道路改良事業負担金 545万円」、消防費で「全国瞬時警報システム整備事業 866万5千円」、教育費で「小学校耐震改修事業 12億4,693万2千円」、「校内LAN整備事業 674万5千円」、「中学校耐震改修事業 16億4,079万2千円」、「幼稚園耐震改修事業 4,866万3千円」をそれぞれ翌年度に繰り越して使用できる経費として繰越明許費を設定する。

（債務負担行為の変更）

3月補正で、セントピアあわらへ5,000万円追加返済するため、1億5,000万円から1億円に変更する。

また、事業費の確定により、複合福祉施設整備工事及び両中学校整備工事に係る限度額をそれぞれ所要の額に変更する。

## 特別会計予算

### 1 国民健康保険特別会計（3号補正）

- ・ 歳入歳出それぞれ 1億1,497万3千円を追加し、補正後の予算額を 31億969万4千円とする。
- ・ 歳出の主な内容としては、一般被保険者療養給付費 1億6,500万円、一般被保険者高額療養費 1,400万円を追加する一方、介護納付金 3,247万千円、高額医療費拠出金 1,375万4千円、保険財政共同安定化事業拠出金 1,255万9千円を減額する。

### 2 老人保健特別会計（2号補正）

- ・ 歳入歳出それぞれ 1,000万円を減額し、補正後の予算額を 7,221万円とする。
- ・ 医療給付費 1,000万円を減額する。

### 3 後期高齢者医療特別会計（1号補正）

- ・ 歳入歳出それぞれ 107万1千円を追加し、補正後の予算額を 2億9,367万1千円とする。
- ・ 保険料納付金を 107万1千円を減額する。

### 4 農業者労働災害共済特別会計（1号補正）

- ・ 歳入歳出それぞれ 1万9千円を追加し、補正後の予算額を 4,511万9千円とする。
- ・ 農業者労働災害基金利子 1万9千円をそのまま基金に積み立てる。

### 5 モーターボート競走特別会計（2号補正）

- ・ 歳入歳出それぞれ 41万5千円を追加し、補正後の予算額を 27億4,047万円とする。
- ・ 競艇基金利子 41万5千円をそのまま基金に積み立てる。

### 6 公共下水道事業会計（3号補正）

- ・ 収益的収入及び支出の「収入」で、下水道使用料 200万円、一般会計負担金 80万円、一般会計補助金 8,450万円を減額し、補正後の収益的収入予定額を 10億6,090万3千円とする。

また「支出」では、納付書統合ソフト制作委託料 800万円、下水道管調査委託料 190万円などを減額し、補正後の収益的支出予定額を 10億5,181万2千円とする。

- ・ 資本的収入及び支出の「収入」では、公的資金借換債6,460万円を減額し、補正後の資本的収入の予定額を 23億1,453万6千円とする。

- ・ また、「支出」では、汚水管渠布設工事費 610万円、流域下水道事業建設負担金 90万6千円を追加する一方、物件移転補償費 610万円、企業債償還金 6,473万9千円を減額し、補正後の資本的支出の予定額を 26億6,158万3千円とする。

### 7 水道事業会計（2号）

- ・ 収益的収入及び支出の「収入」で、消火栓維持管理負担金 149万円、加入負担金 340万円を追加する一方、徴収業務負担金 90万円、一般会計補助金 990万円を減額し、補正後の収益的収入

の予定額を 8 億4,942万 4 千円とする。

- ・ また、「支出」では、検針業務委託料など 466万 9 千円を減額し、補正後の収益的支出予定額を 8 億4,522万 7 千円とする。

- ・ 資本的収入及び支出の「収入」では、県補助金78万 3 千円を減額し、補正後の資本的収入の予定額を 4 億7,761万 6 千円とする。

#### 8 上水道財産区水道事業会計（3号）

- ・ 収益的収入及び支出の「収入」で、水道料金 300万円を減額し、補正後の収益的収入の予定額を 1 億7,155万 8 千円とする。

- ・ また、「支出」では、減価償却費の減額や消費税及び地方消費税の追加など計 17万 5 千円を減額し、補正後の収益的支出の予定額を 1 億7,353万円とする。

## H22 当初予算概要

- 1 平成 22 年度あわら市一般会計当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ 138 億 6,000 万円で、前年度と比較して 10 億 4 千万円、8.1%の大幅なプラスとなった。
- 2 要因としては、前年度からの継続事業である複合福祉施設整備事業、両中学校の耐震補強・改修事業を引き続き実施するほか、嶺北消防組合への負担金及び緊急雇用対策事業の増、新たに子ども手当を支給することになったことなどがあげられる。
- 3 厳しい財政状況の中、昨年は、各小中学校・幼稚園の耐震補強・改修事業を重点的に実施してきた。  
本年は、両中学校の南校舎の耐震補強・改修工事に係る経費を計上しており、この結果、本年度末には市内の全ての小中学校・幼稚園の耐震補強が完了することになる。  
このほか、H E E C E 構想への取組みとして、健康、教育、環境、コミュニティ、経済産業の各分野において、所要の経費を計上した。  
また、引き続き財政の健全化を図るため、合併特例債を有効活用し一般起債の抑制を行っている。

### < 主な事務事業 >

嶺北消防組合負担金	6 億 4,446 万 1 千円
コミュニティバス運行事業委託料	5,374 万 8 千円
坂井地区環境衛生組合負担金(建設費負担金分含む)	3 億 6,510 万 5 千円
複合福祉施設整備事業	3 億 1,692 万 2 千円
子ども医療費助成事業	4,060 万円
子ども手当支給費	5 億 50 万円
子どもインフルエンザ予防接種助成費	645 万 5 千円
緊急雇用創出事業	6,631 万 3 千円
ふるさと雇用再生特別基金事業	5,121 万 7 千円
低コスト耐候性ハウス導入事業補助金	8,250 万 6 千円
地方道路交付金事業(滝・高塚線)	3,171 万円
地方道路交付金事業(重義・国影線)	4,172 万円
まちづくり交付金事業(芦原温泉駅周辺整備)	3,500 万円
まちづくり交付金事業(芦原温泉駅前にぎわい交流広場整備)	8,200 万円
公営住宅ストック総合改善事業	1 億 2,941 万 5 千円
中学校耐震改修事業	11 億 3,142 万 4 千円

4 歳入は、市税等の自主財源が 56 億 6,850 万 9 千円、構成比 41.0%で、国県支出金等の依存財源が 81 億 9,149 万 1 千円、構成比 59.0%となっている。

前年度との比較では、自主財源が 6.5%の減、依存財源が 21.2%のプラスとなっている。

内容としては、市税が 前年比 1 億 8,760 万 2 千円、4.1%の減となっている。

これは市民税においては 主に、法人市民税が景気悪化に伴い、法人税割で前年度当初予算に比較して 1 億 7,200 万円、36.6%の減を見込んだためである。

地方交付税では、平成 22 年度地方財政計画等から、普通交付税が 24 億円と、前年度当初との比較で 5,000 万円、2.1%の増を見込み、これに実質的な交付税である臨時財政対策債を加えた総額では 30 億 7 千万円と、1 億 7,340 万円、6.0%の増となっている。

また、譲与税、交付金等は 2,850 万円、4.6%の減となっている。

国庫支出金は、子ども手当に係る負担金や集落活性化推進事業補助金(複合福祉施設整備)などにより大幅な増となっている。

市債は、臨時財政対策債の増加に加え、複合福祉施設、県営かんがい排水事業負担金、両中学校耐震補強・改修事業の実施などにより大幅な増となっている。

また、財源不足を補てんするため、財政調整基金 1 億 5 千万円を取り崩している。

5 歳出は、人件費等の義務的経費が 58 億 1,070 万円、構成比 41.9%で、物件費等その他の経費が 80 億 4,930 万円、構成比 58.1%となっている。

前年度との比較では、義務的経費が 5.3%の増、その他の経費が 10.3%の増となる。

主な増減の内容としては、扶助費で、子ども手当の支給等により、3 億 2,964 万 4 千円、18.3%の増となっているほか、物件費で緊急雇用対策事業による臨時職員の採用等により、1 億 8,872 万 3 千円、12.9%の増、貸付金で、金津雲雀ヶ丘寮への貸付金が 4,000 万円の減額となつたため、3,900 万円、15.4%の減となっている。

普通建設事業は、補助事業で、複合福祉施設整備や中学校の耐震補強・改修事業の実施などにより、補助事業で 5 億 1,171 万 8 千円、44.5%の大幅な増となっているほか、単独事業では、防災行政無線整備事業の減などにより 1 億 5,152 万 6 千円、18.2%の減となっている。

#### 【参 考】

22 年度における合併特例債の借入は、

・複合福祉施設整備事業	1 億 6,040 万円
・坂井地区汚泥再処理センター建設事業負担金	2 億 2,080 万円
・市道改良事業	3,000 万円
・地方道路交付金事業(滝・高塚線、重義・国影線)	3,310 万円
・芦原温泉駅周辺整備事業	6,610 万円
・防災行政無線整備事業	6,810 万円

・あわら消防署庁舎建設事業	3,580 万円
・嶺北消防負担金（本部移転改修、指令センター）	1 億 4,890 万円
・中学校耐震改修事業	8 億 3,340 万円
計	15 億 9,660 万円

を計上している。

前年度と同様に、本年度においても（財）セントピア芦原が長期借入金の一部借換を行う際に金融機関から受ける融資に対しての損失補償を行うため、債務負担行為の設定をしたが、本年も、前年同様、2 億円うち 5,000 万円を借り換えず返済することとした。

特別会計については、資料「各会計予算規模」のとおりである。

< 予算規模 >

	H21年度	H21年度	差 引	伸び率
全会計	235億3,720万4千円	229億6,155万9千円	5億7,564万2千円	2.5%
一般会計	138億6千万円	128億2千万円	10億4千万円	+ 8.1%
特別会計	59億3,520万円	60億940万円	7,420万円	1.2%
企業会計	37億4,200万1千円	41億3,215万9千円	3億9,015万8千円	9.4%